

平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

小学校 中学校 県立学校 養護教諭

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 

ア
---

 と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の(例)のようにアの解答欄の 

b
---

 をマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



## 第1問

- 1 次の各文は、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（中央教育審議会答申，平成27年12月21日）から抜粋したものである。  ～  に該当する語句を，下の a～e からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- (1) 学校が抱える課題に複雑化・困難化をもたらした社会や経済等の変化としては，都市化・過疎化の進行，家族形態の変容，価値観やライフスタイルの多様化，地域社会等のつながりの希薄化や地域住民の支え合いによるセーフティネット機能の低下などが考えられる。

また，情報技術の発展により，各種の情報機器が子供たちの間でも広く使われるようになり，人間関係の在り様が変化してきていることもある。さらに，我が国の子供の  の状況が先進国の中でも厳しいということも明らかになっており，学校における対応が求められている。

a	b	c	d	e
学力	体力	教育水準	貧困	学習意欲

- (2) 子供たちの問題行動の背景には，多くの場合，子供たちの心の問題とともに，家庭，友人関係，地域，学校など子供たちの置かれている  の問題があり，子供たちの問題と  の問題は複雑に絡み合っていることから，単に子供たちの問題行動のみに着目して対応するだけでは，問題はなかなか解決できない。

a	b	c	d	e
生活面	コミュニティ	周囲	社会	環境

- (3) 学校が抱える課題は，複雑化・困難化するだけでなく，拡大し，多様化している。例えば保護者や地域住民の期待に応えるため，土曜日の教育活動への取組や通学路の安全確保対策，  やアレルギー対策のような新しい健康問題への対策も求められている。

a	b	c	d	e
感染症	生活習慣病	難病	心のケア	災害事故

- (4) 我が国の教員は、学習指導、生徒指導等、幅広い業務を担い、子供たちの状況を総合的に把握して指導に当たってきたことが教育の成果につながっていると考えられることから、専門スタッフの参画は、学校において単なる業務の切り分けや代替を進めるものではなく、教員が専門スタッフの力を借りて、子供たちへの指導を充実するために行うものである。

例えば、いじめへの対応について、日常的に子供に関わっている教員、身体的不調の様子からいじめ等のサインに気づきやすい立場にある養護教諭、心理学の観点から助言や援助を行うスクールカウンセラーなど役割や専門性を  職員が様々な立場から、総合的に関わることで解決につなげることが可能になる。

a	b	c	d	e
類似する	異にする	共有する	独自にもつ	同じにする

- (5) 養護教諭は、学校に置かれる教員として、従来から、児童生徒等の心身の健康について中心的な役割を担ってきた。今後は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されている学校において、それらの専門スタッフとの  が求められることから、 のための仕組みやルールづくりを進めることが重要である。

a	b	c	d	e
連携	同調	協働	協力	対峙

2 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、学校保健安全法第1条である。文中の(①)～(③)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 力

この法律は、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における保健管理に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が(①)な環境において実施され、児童生徒等の(①)の確保が図られるよう、学校における(②)に関し必要な事項を定め、もって(③)の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

	( ① )	( ② )	( ③ )
a	安全	衛生管理	学校安全
b	清潔	健康管理	学校教育
c	健康	衛生管理	学校保健
d	安心	安全管理	学校保健
e	安全	安全管理	学校教育

- (2) 次の文は、学校保健安全法第4条である。文中の キ に該当する語句を、下のa～eから一つ選びなさい。

キ は、その設置する学校の児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

a	b	c	d	e
校長	学校の設置者	教育委員会	地方公共団体	国

- (3) 次の文は、学校保健安全法第9条である。この文中の ( ① ) ~ ( ⑤ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

養護教諭その他の職員は、相互に連携して、( ① ) 又は児童生徒等の ( ② ) の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、( ③ )、当該児童生徒等に対して必要な ( ④ ) を行うとともに、必要に応じ、その保護者に対して必要な ( ⑤ ) を行うものとする。

	( ① )	( ② )	( ③ )	( ④ )	( ⑤ )
a	健康相談	健康状態	遅滞なく	指導	助言
b	健康相談	生活行動	早急に	助言	指導
c	健康診断	健康状態	遅延なく	助言	助言
d	健康相談活動	問題行動	遅滞なく	説明	援助
e	健康診断	生活行動	速やかに	指導	協力

- (4) 次の文は、学校保健安全法第29条である。文中の ( ① ) ~ ( ⑤ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

学校においては、児童生徒等の ( ① ) の確保を図るため、当該 ( ② ) の実情に応じて、( ③ ) 等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び ( ④ ) を定めた ( ⑤ ) を作成するものとする。

	( ① )	( ② )	( ③ )	( ④ )	( ⑤ )
a	教育	地方公共団体	災害	手順	保健安全計画
b	生命	地域	危険	方法	防災計画
c	健康	学校	災害	責任者	対処要領
d	安全	学校	危険	手順	対処要領
e	安全	施設	事故	連絡網	マニュアル

(5) 次の文は、学校保健安全法施行規則第28条である。文中の ( ① ) ~ ( ⑤ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

法第27条の ( ① ) は、他の法令に基づくもののほか、( ② ) 1回以上、児童生徒が ( ③ ) 使用する施設及び設備の異常の有無について ( ④ ) に行わなければならない。

2 学校においては、( ⑤ ) があるときは、臨時に、( ① ) を行うものとする。

	( ① )	( ② )	( ③ )	( ④ )	( ⑤ )
a	衛生検査	毎日	定期的	計画的	必要
b	安全点検	毎年	日常	定期的	要請
c	安全点検	毎学期	通常	系統的	必要
d	衛生点検	毎月	通常	体系的	問題
e	環境衛生検査	毎週	日常	系統的	申告

## 3 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、成長曲線等を描くことの意義を述べたものである。文中の(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

サ
---

- ・一人一人の児童生徒等特有の成長特性を(①)できる。
- ・「肥満」や「やせ」といった(②)の変化, それに加えて低身長, 高身長, 特に性早熟症といって一時的に身長伸びがよく, 児童生徒等本人や保護者も急速に伸びる身長のことを喜んでいると, 早期に身長伸びが止まって, 最終的には極端な(③)になるといった病気等を早期に見つけることができる。
- ・成長曲線パターンの(④)は目で見て分かるので, 児童生徒等及び保護者がその(④)の様子を容易に理解できる。
- ・成長曲線と肥満度曲線を併せ用いることで, (⑤)ややせの状態を分かりやすく(①)できる。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	評価	栄養状態	低身長	変化	肥満
b	評価	体形	やせ	異常	低身長
c	理解	体格	発育不全	偏り	肥満
d	確認	体つき	発育不全	変化	低身長
e	診断	栄養状態	低身長	変動	肥満

- (2) 次の文は、成長曲線について述べたものである。文中の(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

シ
---

成長曲線基準図の中には、上下7本の基準線があり、この基準線に上から、(①)、90、75、50、(②)、10、(③)の7つの数字がついている。これらの数字の単位は、(④)である。(④)は日本語では「百分位」といわれ、集団を均等に百に分けたときに何番目に当たるかを示すものである。統計学的にいえば(③)(④)以下は異常に低身長、(①)(④)以上は異常に高身長としているが、これらがすべて病的であるという意味ではない。また、この成長曲線基準図の中の基準線と基準線の間を(⑤)と呼んでいる。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	100	30	0	パーセンタイル	スペース
b	95	35	5	パーセント	スコープ
c	97	25	3	パーセント	スペース
d	95	30	5	パーセンテージ	チャンネル
e	97	25	3	パーセンタイル	チャンネル



(3) 次の図は、成長曲線に基づくやせと肥満の分類を示したものである。その説明として誤っているものを、下のa～cから一つ選びなさい。

図 成長曲線に基づくやせの分類

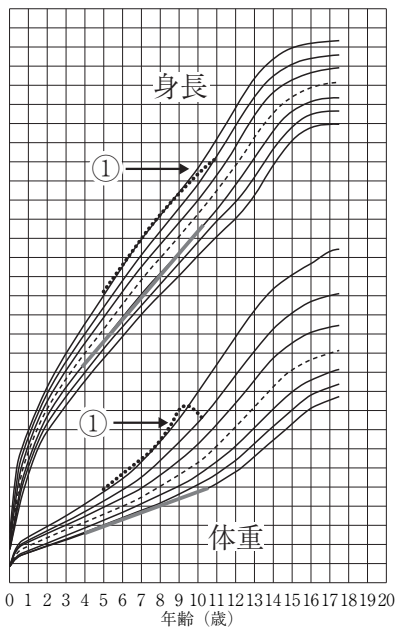
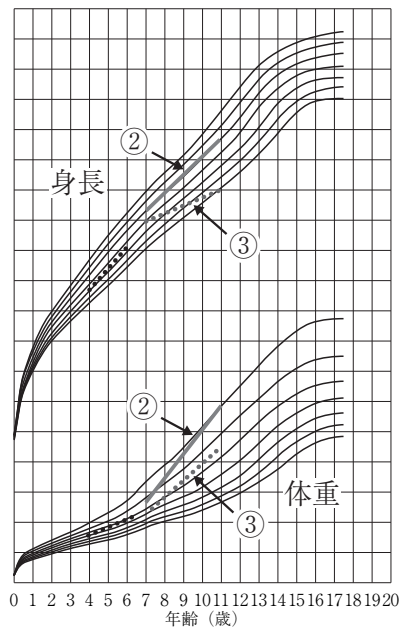


図 成長曲線に基づく肥満の分類



- a ①は、体重成長曲線が大きく基準線を横切って下向きになっている。これは重大な病気が原因と考えなければならないやせである。
- b ②は、体重成長曲線が基準線を横切って上向きになっているが、身長成長曲線は同一の基準線の中で基準線に沿っている、これは単純性肥満である。
- c ③は、身長成長曲線が基準線を横切って下向きになっているにもかかわらず、体重成長曲線は上向きのものである。これは成長期にみられる体質性肥満である。

## 第2問

1 次の(1)～(17)の問いについて、該当するものを、下のa～dからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- (1) 児童生徒健康診断票(歯・口腔)に記載するにあたって、保健調査の結果と視診触診の結果から必要とみられる事項や要観察歯がある場合は、歯式欄に加え、別の欄に記入することになっている。どの欄に記入するのか。

a	b	c	d
歯垢の状態	歯肉の状態	その他の疾病及び異常	学校歯科医

- (2) 児童生徒健康診断票(一般)の「視力」の欄に、「C」と記入しても差し支えないのは、どのような視力の検査結果か。

a	b	c	d
0.3未満	0.5～0.2	0.6～0.3	0.7～0.3

- (3) 児童生徒健康診断票(一般)の「聴力」の欄に、○印を記入するのは、1,000Hzにおいて30dB又は4,000Hzにおいて何dB(聴力レベル表示による)を聴取できない者か。

a	b	c	d
15	20	25	35

- (4) 児童生徒健康診断票(一般)の「尿」の欄の「その他の検査」の欄には、蛋白若しくは糖の第二次検査のほか、どのような検査を行った場合に記載するか。

a	b	c	d
潜血検査	血糖検査	血圧検査	血中脂質検査

- (5) 検尿は採尿後およそ5時間以内に行うことが望ましいとされているのは、蛋白尿が6時間から12時間後に変化するからである。その変化を何というか。

a	b	c	d
陰転	反転	陽転	逆転

- (6) 感染症の主な感染経路として、4つをあげることができる。次の説明は、何という感染経路になるか。

感染している人が咳やくしゃみをした際に、口や鼻から病原体が多く含まれた小さな水滴が放出され、それを近くにいる人が吸い込むことで感染する。この場合、1～2m以上離れていれば感染の可能性は低くなる。

a	b	c	d
空気感染	飛沫感染	接触感染	経口感染

- (7) 結核について述べている説明として誤っているものはどれか。

- a 病原体は、結核菌である。
- b 潜伏期間は、2年以内、特に6か月以内に多い。
- c 二次性肺結核は思春期以降や成人に多くみられ、症状は、倦怠感、微熱、寝汗、咳などである。
- d 予防法は、ツベルクリンという予防接種である。

- (8) 麻疹について述べている説明として誤っているものはどれか。

- a 病原体は麻疹ウイルスである。
- b 潜伏期間は主に8～12日（7～18日）である。
- c 感染力が最も強いのは、口内の頬粘膜にコプリック斑が出て後、赤い発疹が出現してからである。
- d 発疹に伴う発熱が解熱した後3日を経過するまでは出席停止とする。

- (9) 照度検査の方法について述べている説明として誤っているものはどれか。

- a 検査回数は2回定期に行う。どの時期が適切かは地域の特性を考慮した上、学校で計画立案し、実施する。
- b 検査場所は、学校の授業中等に、各階1以上の教室等を選び検査を行う。測定位置は教室では机上、教室以外では床上50cmを原則とするが、照度計を低い位置に置いて測定することが必要な場合もある。
- c 測定者は、測定時の着衣に注意する。服装は、光を吸収する黒っぽいものを着用する。
- d 黒板の照度を測定する場合には、照度計の受光部の背面を黒板面に密着して照度を測定する。

- (10) 教室等の環境に係る学校環境衛生基準についての検査方法の説明において、検査項目と方法が記載されている。その組み合わせとして誤っているものはどれか。

コ

	検査項目	方法
a	換気	二酸化炭素は、検知管法により測定する。
b	気流	カタ温度計又は微風速計を用いて測定する。
c	一酸化炭素	相対濃度計を用いて測定する。
d	二酸化窒素	ザルツマン法により測定する

- (11) てんかんについての説明として誤っているものはどれか。  サ

- a てんかんとは、てんかん発作を繰り返す疾患である。
- b 発作の症状は、意識喪失やけいれんに限らず、一見、短時間ぼんやりしているだけに見えるもの、周りが変に見えるなど、様々なものが含まれる。
- c てんかん発作は脳の異常な神経活動によるものであり、心理的な原因によるものではない。
- d てんかんは300～500人に1人の割合でみられ、乳幼児に多いが、児童生徒にもまれではない。

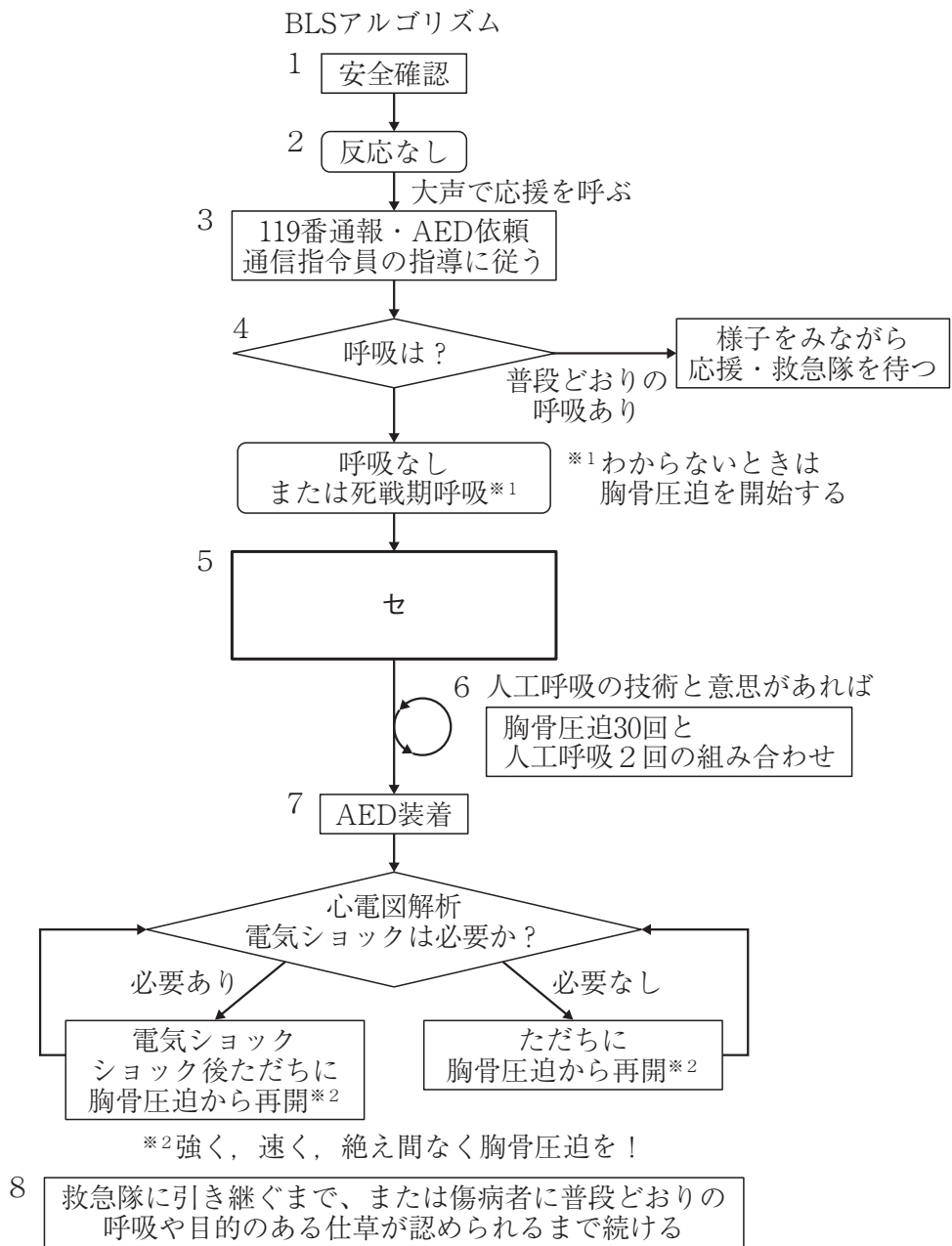
- (12) 次の表は、子どもの糖尿病の種類と特徴を示すものである。その組み合わせとして誤っているものはどれか。  シ

		1型	2型
a	発病経過と糖尿病昏睡の頻度	発病経過は急激で、糖尿病昏睡は乳幼児でしばしばみられる	発病経過はゆっくりで、糖尿病昏睡はまれ
b	体型と家族内の糖尿病	やせ型で、家族内に糖尿病患者は少ない	太り気味で、家族内に糖尿病患者は多い
c	治療	インスリンの注射が治療の中心である	食事療法と運動療法及び経口血糖降下薬
d	発症年齢と頻度	幼児ではまれ。小学生～中学生以上に比較的多い	10～15歳に多く、乳幼児にもみられる

(13) 次の文は、「救急蘇生法の指針2015（市民用）」（厚生労働省）からの内容である。説明として誤っているものはどれか。

- a 市民が行う救急蘇生法は一次救命処置と簡単なファーストエイドである。
- b 突然の心停止，もしくはこれに近い状態になった傷病者を社会復帰に導くための方法を一次救命処置という。
- c 一次救命処置とは心肺蘇生，AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショックのことであり，異物や窒息をきたした傷病者への気道異物除去は除く。
- d ファーストエイドには熱中症への対応や出血に対する圧迫止血なども含まれる。

- (14) 次の図は、主に市民が行う一次救命処置（BLS）の手順を示している。 セ の内容として誤っているものはどれか。



JRC蘇生ガイドライン2015より引用

図 主に市民が行う一次救命処置（BLS）の手順

- a ただちに胸骨圧迫を開始する。
- b 強く圧迫する。胸骨圧迫は、5～6cmの深さ。
- c 速く圧迫する。1分間のリズムは80回～120回。
- d 絶え間なく圧迫する。

(15) 気道異物による窒息への対応として誤っているものはどれか。

- a 立っている，または座っている傷病者の場合，傷病者の後方から手のひらの基部（手掌基部）で左右の肩甲骨の中間あたりを力強くたたく。
- b 傷病者がぐったりして反応がなくなった場合は，心停止に対する心肺蘇生の手順を開始する。
- c 腹部突き上げと背部叩打は，その場の状況に応じてやりやすい方法を実施し，異物が取れるまで，2つの方法を数度ずつくり返して続ける。
- d 腹部突き上げ法は，傷病者の後ろにまわり，胸部に手を回す。一方の手で胸の位置を確認し，もう一方の手で握りこぶしをつくって親指側を傷病者の胸の上方に当てる。胸を確認した手で握りこぶしを握り，すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。

(16) 感染症を予防するには，吐物・下痢の処理を適切に行うことが大切である。吐物の処理についての説明として誤っているものはどれか。

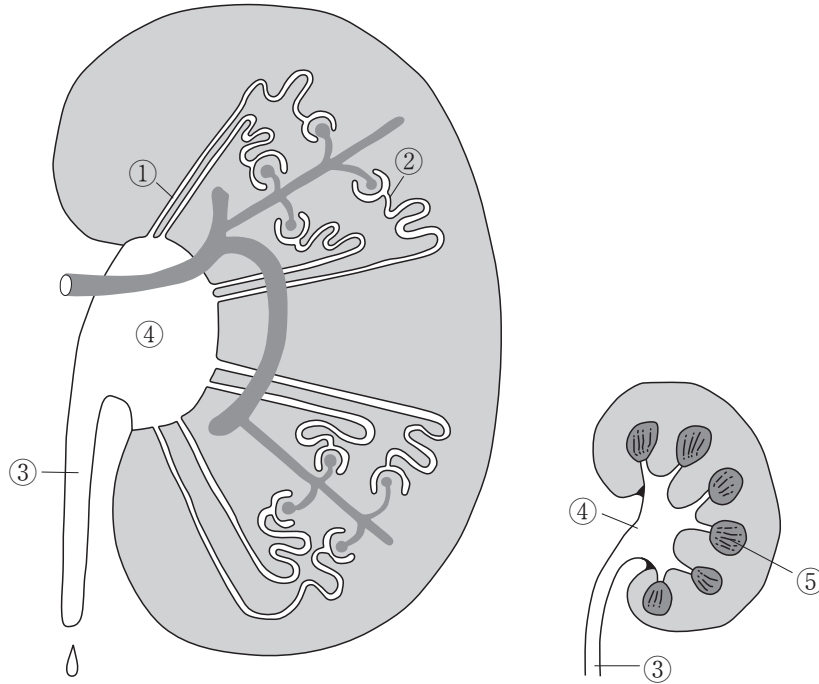
- a 吐物は，ゴム手袋をして，できればマスク，ゴーグルを着用し，ペーパータオルや使い捨ての雑巾でふき取る。
- b 外側から内側へ，周囲に拡大させないようにして拭き取る。拭き取ったものはビニール袋に二重に入れて密封して破棄する。
- c 吐物の付着した箇所は塩素系消毒液200ppm程度で消毒する。消毒薬は，市販の塩素濃度5～6%の漂白剤を約200倍に希釈する。
- d 吐物の周辺に消毒剤を噴霧する。

(17) 学校における色覚の検査についての説明として誤っているものはどれか。

- a 平成26年4月に文部科学省から「学校保健安全法施行規則の一部改正等について」が通知された。「色覚の検査」についても，このとき学校保健安全法施行規則において改正された。
- b 文部科学省通知における留意事項には，学校における色覚の検査は，学校医による健康相談において，児童生徒や保護者の事前の同意を得て個別に検査，指導を行うこととある。
- c 学校における色覚の検査は，平成15年度より児童生徒等の健康診断の必須項目から削除され，希望者に対して個別に実施している。
- d 学校関係者は色覚および色覚異常の特性をしっかりと理解し，検査希望者には学校での色覚の検査の実施をはじめ，色のバリアフリーの推進そして適切な指導や配慮が求められる。

2 腎臓について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の腎臓の図中の(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。



	( ① )	( ② )	( ③ )	( ④ )	( ⑤ )
a	糸球体	尿細管	髓質	膀胱	腎盂
b	糸球体	尿細管	尿管	腎盂	腎杯
c	尿管	糸球体	尿細管	膀胱	腎盂
d	尿細管	腎動脈	腎盂	膀胱	髓質
e	尿細管	糸球体	尿管	腎盂	髓質



(2) 次の文は、腎臓の働きについて述べたものである。文中の ( ① ) ~ ( ⑤ ) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 テ

腎臓で尿をつくるための装置を ( ① ) (腎単位) という。( ① ) は、糸球体とボウマン嚢からなる腎小体と、尿細管で構成される。

糸球体を流れる血液から、水、ミネラル、イオンや尿酸などの老廃物といった分子の小さい物質がボウマン嚢に濾し出される。血球や高分子である ( ② ) などは糸球体に残る。このボウマン嚢に濾し出されたものを原尿という。

原尿が尿細管を流れる間に、まわりをとりまく毛細血管の方に、体内でまだ必要な水やミネラル、( ③ ) などが ( ④ ) される。また、毛細血管側からも不要なものが尿細管に分泌される。

原尿は1日に ( ⑤ ) l にもなるが、尿細管での再吸収と分泌の結果、尿は100分の1程度に濃縮される。

	( ① )	( ② )	( ③ )	( ④ )	( ⑤ )
a	アシラーゼ	マグネシウム	カリウム	再ろ過	50
b	ニューロン	ブドウ糖	マグネシウム	再吸収	30
c	ネフロン	カリウム	たんぱく質	除去	80
d	ネフロン	たんぱく質	ブドウ糖	再吸収	150
e	ニューロン	たんぱく質	ブドウ糖	分泌	150

(3) 次の文は、腎臓の機能が著しく低下した腎不全について述べたものである。内容として誤っているものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。 ト

- a 腎不全には、急性と慢性がある。体内のホメオスタシスを維持する機能が果たせなくなるため、体内の水分量はpH、体液のミネラル濃度、血圧などに異常をきたし、重篤な場合は死亡することがある。
- b 急性腎不全は急速に発症するもので、大出血や脱水、ショック、急性糸球体腎炎などの急速な進行、尿管の完全閉塞などが原因である。腎機能障害は不可逆性で、適切な治療によっても治癒は難しい。
- c 急性腎不全の場合、尿が出せなくなり、体内に水分が溜まるため、高血圧、浮腫、うっ血性心不全、肺水腫などが急速に進行する。
- d 急性腎不全では、頭痛や吐き気などが現れ、重症になると意識混濁やけいれんなどを起こすことがある。
- e 慢性腎不全とは、自覚症状は倦怠感や疲れやすさを感じる程度である。夜間に濃縮した尿をつくる能力が低下するため、夜間の尿量が増加する。

第3問 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の表は、人間関係づくりのための手法の一例である。内容として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

	手法	具体的内容
a	ピア・サポート活動	「ピア」とは、「仲間や同士」の意味。子どもが相互に支え合う関係づくりのためのプログラム。
b	ソーシャルスキルトレーニング	様々な社会的技能を習得するトレーニングで、「相手の理解」や「自分の思いや考えの伝達」「円滑な人間関係づくり」等が主な目標となる。
c	アサーショントレーニング	混沌とした気持ちを整理したり、状況を客観的にみることを通じて、衝動性が高まっても自分で鎮静化し、適切な表現や問題解決ができるような力を学ぶプログラム。
d	ライフスキルトレーニング	日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力を養うトレーニング。
e	ストレスマネジメント教育	多様なストレスへの対処法を学ぶ手法。最初にストレスに関する知識を学び、その後「リラクゼーション」「コーピング(対処法)」等を学ぶ。危機対応等に活用される。

(2) 次の児童虐待に係る通告（児童虐待防止法第6条）についての説明の中で、誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 児童虐待に係る通告について、児童虐待を受けたと思われる児童生徒等を発見した場合は、速やかに通告しなければならない。
- b 虐待の事実が明らかでなくても、子どもの安全・安心が疑われると思われる場合は、早期対応の観点から通告の義務が生じる。
- c 学校からの通告は、どのような場合でも、直接児童相談所に通告することになっている。
- d 通告を受けた福祉事務所又は児童相談所の所長等は、通告した者を特定させるものを漏らしてはならない。

- (3) 次の文は、児童虐待の心身への影響について述べたものである。正しいものには○、誤りのあるものには×の印をつけた組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

ウ
---

- ① 低体重・低身長：ネグレクトによる栄養不良だけでなく、身体的虐待が身体の発育・発達を遅らせる。
- ② 運動機能障害：身体的虐待による頭部外傷が頭蓋内出血などを引き起こし、その結果として発症することがある。
- ③ 衝動のコントロールの難しさ：思うようにならないとすぐにキレる。一度不機嫌になって怒り出すとなかなか収まらない。
- ④ PTSD症状：自分の抱えている不安を言葉で表現できない子どもは、頭痛、腹痛、疲労感など、様々な身体的な症状を訴えることがある。
- ⑤ 解離：虐待が繰り返されると、その苦痛を受け止め、意識から切り離してしまう。苦痛な場面の記憶が残る。

	①	②	③	④	⑤
a	○	×	○	×	○
b	×	○	×	○	×
c	○	×	×	○	×
d	○	○	×	○	○
e	×	○	○	×	×

第4問 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、一般用医薬品の取扱いについての説明である。正しいものには○、誤りのあるものには×の印をつけた組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 ア

- ① 学校での一般医薬品の管理に関する責任者は学校薬剤師である。
- ② 一般用医薬品の購入や保管などの取扱いについては、養護教諭等だけで判断せず、必ず校長に相談し、学校医等の指導助言を受け、決定する。
- ③ 一般用医薬品の保管や使用状況などについては、学校薬剤師が一般用医薬品管理簿などに記録し、校長への報告・連絡及び相談をする。
- ④ 年度当初には、保健主事が教職員に対し、保健室の利用の仕方及び一般用医薬品にかかわる取扱いなどについて提案し、教職員の共通理解を図る。
- ⑤ 前年度までの児童生徒の傷病の状況、それに伴う一般用医薬品の使用状況及び学校の実態などを踏まえて、一般用医薬品の購入や保管について考える。

	①	②	③	④	⑤
a	×	○	×	×	○
b	×	×	×	×	×
c	○	×	×	○	○
d	○	○	○	○	○
e	○	○	○	×	×

(2) 次の文は、医療用医薬品の取扱いについての説明である。正しいものには○、誤りのあるものには×の印をつけた組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。

- ① 校長は、児童生徒本人から、児童生徒の治療に必要な医療用医薬品の預かりを依頼された場合、校内における医療用医薬品の管理に関して検討する機会を設ける。
- ② 学校で医療用医薬品を預かるためには、校長の責任のもと、教職員の協力を得ることができる校内体制や保護者との連絡体制の確立などが必要である。
- ③ 校内体制の確立ができていない場合は、保護者にその旨をきちんと伝え、短期間のみの預かりとする。
- ④ 医療用医薬品を預かる場合は、保護者に対して依頼書の提出をお願いする。依頼書は、主治医の確認欄も設ける。
- ⑤ 原則として、1年に1回（年度変わり）は、依頼書の内容を確認する。また、医療用医薬品に変更がある場合は、適宜依頼書の提出を求める。

	①	②	③	④	⑤
a	○	×	○	○	×
b	○	○	○	×	○
c	×	×	×	×	×
d	×	○	×	×	○
e	○	○	○	○	○

(3) 次の文は、「『生きる力』を育む中学校保健教育の手引き」に示された「性に関する指導の留意点」の内容である。誤っている内容の組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。

- ① 「思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。」を取り扱うのは、第2学年である。
- ② 思春期は、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠を取り扱うものとする。妊娠の経過についても、取り扱うことになる。
- ③ 後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症についても取り扱うものとする。この内容は、第3学年で取り扱うものとする。
- ④ 学校における性に関する指導は、学習指導要領に示した内容に基づいて実施することが重要である。
- ⑤ 子供たちの心身の成長発達には個人差があることから、すべてを集団指導で教えるものではなく、集団指導で教えるべき内容と個別指導で教えるべき内容を明確にし、それらを関連させて指導することが重要となる。

a	b	c	d	e
① ⑤	① ②	② ③	③ ④	② ⑤

